

日本・モンゴル民族博物館

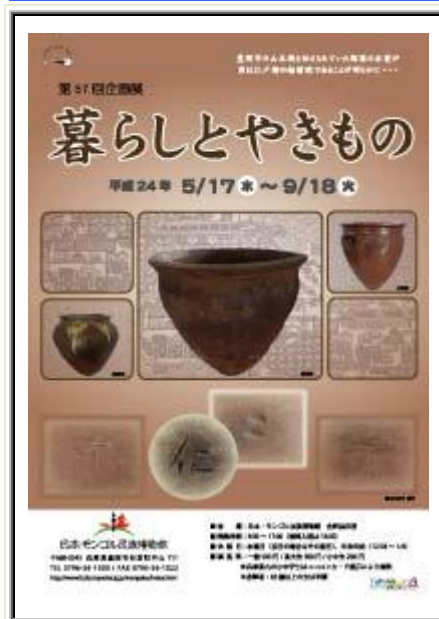
モンゴルの歴史と文化を紹介する博物館。A棟の「たんとうの森」、B棟の「アジアの歴史」、C棟の「モンゴル草原の暮らしと文化」、伝承文化体験交流館の「山里の暮らしと文化」の4つで構成される常設展示が行われている。馬頭琴の音色が流れる中、牧民の移動式住居である「ゲル」の展示の中へ入ると、しばしモンゴル気分を味わうことができる。

開館時間 9:30～17:00(入館は 16:30 まで)
住所 兵庫県豊岡市但東町中山 711
お休み 毎週水曜(祝休日の場合は翌日)
料金 有料
日本・モンゴル民族博物館
お問い合わせ先 Tel:0796-56-1000
Mail: monpaku@city.toyooka.lg.jp



博物館での展示は、大きく常設展示と企画展示に分けられます。企画展は年間数回の割合で、様々なテーマを取り上げています。最新の企画展情報はお問合せください。

現在の企画展



第 57 回企画展

暮らしとやきもの

開催期間／平成 24 年 5 月 17 日(木)～9 月 18 日(火)

2005 年、豊岡市出土文化財管理センターの調査により、それまで、地元の山本地区で焼かれていた山本焼であると伝えられていた**大きな水甕が、じつは江戸時代に越前から伝わった越前焼**であることが確認できました。これらは、日本海の回船や円山川の水運を利用して、大量に当地に流通していたことが分かります。

本展では、これらの**越前甕**と、同様の流通経路をたどった**石見焼**と、当地の山本焼・豊山焼等を紹介しています。

ホームページから抜粋 H24.5.28
石州瓦工業組合



日本・モンゴル民族博物館
渡辺律子さんから
の「宅ふあいる便」3枚
H24.5.27(日)

経緯

5.9(水)

当組合ホームページや販促物
で使っている北前船に関する
イラストなど借用、の依頼
了解するとともに、浜田高
校・阿部志朗教諭を紹介

5.15(火)

浜田高校・阿部志朗教諭が石
見焼流通について但馬地方を
調査、博物館を訪問、渡辺律
子さんと面会



←

組合ホームページ

【石州瓦物語 - 小瀬 北前船】



←

浜田高校・阿部志朗教諭の
【報告書】の一部